

野生化する イノベーション

— 創造と破壊をどう支えるか

イノベーションは、創造的破壊と呼ばれます。経済成長の源泉であり、私たちの暮らしを便利にします。ただ、その一方で、これまで培ってきた人のスキルを破壊する側面もあります。ヒト・モノ・カネが企業や国の境界を越えて動くことで、イノベーションはどのように変わのでしょうか。その創造と破壊は、誰に何をもたらすのでしょうか。企業や政府、そして私たちに何ができるのかを考えていきましょう。

日時：

2026. **11.12** (木)
18:30 – 20:00

会場・参加方法：

駒澤大学会館 2 4 6 7-1・7-2

ハイブリッド開催

会場 + Zoom

参加無料

要事前申込

講師：



清水 洋 早稲田大学商学学術院 教授

一橋大学商学修士（1999年）、米国ノースウェスタン大学歴史学修士（2002年）、英国 London School of Economics and Political Science（LSE）博士号（2007年）。アイントホーフェン工科大学（オランダ）研究員、一橋大学商学研究科イノベーション研究センター教授を経て、2019年から早稲田大学商学学術院教授。専門分野は技術史・イノベーションとアントレプレナーシップ。国際シュンペーター学会（ISS）副会長。2016年 日経・経済図書文化賞、2021年 国際シュンペーター学会賞、2026年 文部科学大臣表彰。主な著書に「イノベーションの科学」（中央公論新社、2024年）、「イノベーションの考え方」（日経BP、2023年）、「野生化するイノベーション」（新潮選書、2019年）など。

司会：**岡室 博之**（駒澤大学経済学部 教授）

主催：駒澤大学経済学部

共催：駒澤大学経済学部 現代応用経済学科ラボラトリ

<https://forms.gle/FqUaEVLBxTYMeYai7>

お申込みは
こちらから

